

日刊 動労千葉

85. 11. 29
No. 2102

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）五三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

総武線ガタガタ 大勝利のうちに28日スト

155本運休

国鉄「分割・民営化」阻止、三里塚二期着工粉碎

意気高く、本日正午までスト続行・貫徹へ 中曽根よ、当局よ、国鉄労働者の怒りと実力思い知たか

ゆいゆいは、当局のスト破りに抗議し、28日正午より断固たる24時間ストライキに突入し、初日から圧倒的勝利をかちとった。全国からかき集めた九千五百名の機動隊・数百名の公安・白腕をもってするスト圧殺介入策動をき然としてはぬのけ、昨日才一日目にして、「特急」37本、快速32本、緩行66本、計一三五本の運休を実現した。動労千葉は宣言した通り総武線をズタズタにひき裂き、スト破りを強行した国鉄当局・中曽根に大打撃を与え、本日才二日目のストを続行してゐる。全ての国鉄労働者に大きな感動と女感をよび起し、いよいよ分割・民営化への10万人首切り粉碎への30万国鉄労働者の壮大なゼネストへの決起が開始されたのだ。そして、ゆいゆいのスト拠点で共に働いている国鉄の仲間も、国鉄中央指導部の裏切り方針に怒りをたぎらせ、スト破り強要に抗議し、勇気をもって様々な感動的な決起を開始したのだ。本日正午まで、総力を結集し断固としてストを貫徹しよう。

沼田点 津田 抛

11時50分よりスト突入集会。山下支部長が力強くスト突入宣言、水野本部副委員長の報告をうけ、叩いの火ぶたを切った。全員意気高くスト続行中。（詳報次号）

国労の仲間が共にストに決起

津田沼では、国労指導部の裏切り方針「当局の全指示に従え」というスト破りの強要に対し、国労の仲間の怒りや爆発、中央本部・地本から派遣された執行委員は徹底的に弾劾されつくされ全く答えることができないという状態をさらけ出した。

こうした中で、遂に三名の若き仲間たちが決起、動労千葉と共にストライキに突入したのである。これに続き多数の国労組合員が各所で大小の抵抗をくりひろげるなど、当局の思惑「国労のスト破りでストを無力化しよう」は完全に粉碎され、あけてふためいた。動労千葉組合員と国労指導部の屈服をのりこえて決起した国労の仲間たちの真剣必死の闘いを通し、わずか半日で緩行線50本以上の運休を生み出し、総武線をガタガタにする大勝利をかちとった。

千葉転点 抛

11時45分よりスト突入集会。山口本部副委員長の報告をうけ、全員意気高く「ガンバロー」をもって闘いに入った。当局の「退却命令」はぬのけ、力強くスト続行中。（詳細報次号）

組合員にスト破りを強要する国労本部 分会一部役員に怒りか爆発

当局の処分恫喝に屈した一部指導部は、国労組合員の「スト破りはするべきでない」という声をかみにじり、なんと「運行の確保に全力をあげる」として国労組合員を当局に差し出しスト破りを強要したのである。その結果、ある組合員は「D・予備（13時〜20時16分）勤務の上に、津田沼→東京4往復の乗務を強制され、勤務が終了したのは午前一時半という恐るべき仕事を強要されたのである。まさにスト破りに応ずることは労働者の権利の全てを放棄することである典型的見本である。こんな事をだま、て見のかせるのか！ 現場の国労組合員は悩み苦しみ心底怒っている。労働者と労働者の権利を当局に売りわたす一部右翼的指導部を徹底糾弾せよ。全ての全国の国鉄の仲間は勇気をもって決起していこう。叩いは力強くはじまったのだ。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！